

2022年10月12日

各 位

「SDGs 応援リース」の契約及び寄付について

株式会社山形銀行（頭取 長谷川 吉茂）の 100%子会社山銀リース株式会社（社長 柿崎 正樹）は、加藤総業株式会社（社長 加藤 聡）の SDGs の促進に資する設備導入において、「SDGs 応援リース」を下記のとおり契約いたしました。

また、2022年10月18日、当社が拠出するリース料の一部と加藤総業株式会社が拠出する資金を合わせ、酒田市社会福祉協議会「子ども食堂」に寄付することとなりましたのでお知らせします。

「SDGs 応援リース」はお客さま及び地域の SDGs を促進することを目的とする商品です。商品の特徴として、お客さま及び当社で選定した SDGs の促進に向けた取組みを行っている団体へリース契約額の 0.2%相当額を寄付いたします。

当社はこうした取組みを通じて、お客さま及び地域社会の SDGs への取組みを全力で支援してまいります。

記

契約企業名	加藤総業株式会社
代表者	加藤 聡
所在地	山形県酒田市東町1丁目1-8
事業内容	建設資材卸売業 再生可能エネルギーによる発電事業
SDGs 促進に資する設備	基幹業務システム
契約概要	契約日 2022年5月30日 物件価額 31.5百万円 リース期間 5年
企業の特徴・SDGs 促進に向けた取組み等	詳細は別紙1参照
寄付	寄付先 社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会 寄付品 現金 500千円 詳細は別紙2参照
対応する SDGs	<物件による SDGs 促進>    



以上

本件に関するお問い合わせ先
山銀リース株式会社 本社営業部
山川（政）・加藤
TEL 023-632-4983

1.企業概要

- (1) 企業名 : 加藤総業株式会社
 (2) 代表者 : 加藤 聡(サトシ)
 (3) 所在地 : 〒998-0875
 山形県酒田市東町1丁目1-8
 TEL.0234-23-5411
 FAX.0234-23-5410
 (4) 資本金 : 30 百万円
 (5) 設立 : 1949 年(創業 1899 年)
 (6) 従業員 : 50 名
 (7) 主要品目 : 建設資材卸売業、再生可能エネルギーによる発電事業

2.「SDGs 応援リース」契約内容

(1)【設備】基幹業務システム一式

- ・データベース管理サーバ、業務用 PC、業務用プリンター
 通信ルーター、データバックアップ機器
- ・基幹業務システム・ソフト構築
 ①ネットワーク強化 ②セキュリティ強靱化対策 ③テレワーク環境拡張
 【効率化】【生産性向上】【平準化】【時短】【安全性】【省電力】

(2) 物件価額 : 31,500 千円

(3) 契約期間 : 5 年

(4) 寄付 : 寄付先 社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会
 (住所:酒田市新橋 2-1-19)

【子ども食堂】酒田市内 5ヶ所

- ①「キッチンおとひめ」(みんなの居場所古民家玉手箱)
- ②「酒田市母子福祉ねむの木会」
- ③「地域食堂」(酒田調理師専門学校)
- ④「つるかめ食堂」(本慶寺)
- ⑤「庄内ちいき食堂」

寄付金贈呈式 2022 年 10 月 18 日(火) 午前 10 時より

寄付金 現金 500 千円

(山銀リース(株)、加藤総業(株)の連名にて)

(5) 設備投資による SDGs 促進

- No.8 「働きがいも経済成長も」
 No.9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

No.11 「住み続けられるまちづくりを」

No.13 「気候変動に具体的な対策を」

(6) 寄付による SDGs 促進

No.1 「貧困をなくそう」

No.2 「飢餓をゼロに」

No.3 「すべての人に健康と福祉を」

No.4 「質の高い教育をみんなに」

No.11 「住み続けられるまちづくりを」

No.17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

3.当社の SDGs への取り組み経緯・取り組み内容

(1)当社は明治 32 年創業から 120 年以上の業歴を有する老舗建設資材卸売業者です。

建設資材を主体とした地域総合商社として当地における知名度は高く、営業基盤は確立されています。

経営理念として「全社員の物心両面の幸福を追求すると同時に、地域社会の進歩発展に貢献すること」を掲げています。昨今においては、SDGs 促進を意識した様々な活動について、全社を挙げて取り組んでいます。

(2)本件、基幹業務システム更新は、当社における業務効率の改善と労働生産性の向上につながります。あわせて技術革新の基盤を構築することで、SDGs 達成目標の 1 つである「産業と技術革新の基盤をつくろう」の実現に寄与します。

(3)業務の効率化がワークライフバランスの充実に寄与し、従業員一人ひとりエンゲージメント向上につながります。ワークエンゲージメントの向上は企業の発展に不可欠であり、達成目標である「働きがいも経済成長も」の実現に欠かせないものです。

(4)労働時間の削減やリモートワークの推進、機器やシステムのエネルギー効率向上により、温室効果ガス(CO₂) 排出量の削減が図られ、達成目標である「気候変動に具体的な対策を」の実現に寄与します。

(5)当社は災害復旧時には建設資材を速やかに供給する使命を持っています。ネットワーク強化およびセキュリティ強化により BCP の実現、すなわち安定した供給体制の確保につながり、まちづくりや公共インフラの整備が円滑に行われる仕組みが構築できることで、達成目標である「住み続けられるまちづくりを」の実現に寄与します。

4.酒田市「子ども食堂」におけるSDGsへの取り組み内容

- (1) 子ども食堂の大きな目的の一つは、「にぎわいづくり」です。
「地域の人たちが集まる場をつくろう」「みんなで食べるって楽しい」という理念実現を介して孤独対策や食育にも貢献できます。
- (2) また「お母さんたち(親御さん)にほっとできる場所を」「お年寄りが地域の子どもたちと触れ合う機会を」と広がっているのが、「子ども食堂」です。
農林水産省では、子ども食堂の定義を「地域住民等による民間発の取組みとして、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する取組み」「家庭における共食が難しい子ども達に対し、共食の機会を提供する取組み」としています。
- (3) 食は、栄養だけでなく、興味・関心や意欲向上など、心身の健康に大きく寄与します。
草の根の取り組みは地域の顔が見える関係づくり、子どものみならずお年寄りも含めた地域コミュニティ形成に寄与します。
- (4) 実在する課題の多くは、保健・福祉・労働、教育等、複数視点での社会一体での取り組みなくして解決できません。
SDGsの思いは「世界の持続可能な開発・発展・成長・活性化・にぎわいは、誰一人とりのこさない世界の実現によって可能になる」とされており、「真のにぎわいは、誰一人取り残さない地域の実現によって可能となる」という『子ども食堂の思い』と同一であり共通しています。
- (5) 酒田市「子ども食堂」の活動はSDGsの
- No.1.「貧困をなくそう」
 - No.2.「飢餓をゼロに」
 - No.3.「すべての人に健康と福祉を」
 - No.4.「質の高い教育をみんなに」
 - No.11.「住み続けられるまちづくりを」
 - No.17.「パートナーシップで目標を達成しよう」
- という目標に直接関わってくるものであると考え、当社はその活動を支持するものです。

以上

5.寄付品贈呈式

- (1) 日 時 : 2022年10月18日 (火) 午前10:00～ 30分程度
- (2) 場 所 : 社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会
- (3) 出席者 : 加藤総業株式会社 代表取締役 加藤 聡 (サトシ)
 同上 取締役管理本部長 高橋 睦 (ムツミ)
 酒田市社会福祉協議会 会長 阿部 直善(ナオヨシ)
 同上 常務理事兼事務局長 桐澤 聡(サトシ)
 同上 事務局次長兼地域福祉課長 梅木 和広 (カズヒロ)
 同上 総務課総務係主任 田端 千恵子(チエコ)
 酒田市健康福祉部 部長 白畑 真由美(マユミ)
 山銀リース株式会社 代表取締役 柿崎 正樹(マサキ)
 同上 庄内営業部 部長 佐々木 浩一(コウイチ)
 同上 庄内営業部 部長代理 仲條 真(シン)
- (4)寄付品 : 現金 500千円
(当日は目録手交とさせていただきます)
- (5)その他 : 報道機関各位には、是非取材いただけますように、お願いいたします。

以上